

科目名	靴デザイン学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科1年	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

適切な靴の製作には、靴に関する様々な知識が不可欠である。靴はファッションとしての側面を持つため、靴の製作にはデザインの知識はとりわけ必要となる。また、整形靴の製作という意味においては、靴のデザインには機能的側面もあるため、適切な整形靴の製作においてもデザインは重要である。ベーシックな靴デザインについて学ぶことで、適切な靴製作の知識を学ぶことを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

靴のデザインと形によって生ずる機能を主要テーマとして講義を行う。それぞれの回に学んだことに関してはデザインの課題を出し、知識の確認をする。講義の最後に試験を行い、その点数をもって評価とする。

〔講師の実務経験〕

義肢装具製作所である株式会社エヌ・オー・ティーにて医療用の整形靴および足底装具の製作販売、材料管理など関連業務に従事。整形靴の木型製作・製甲・底付け・適合技術、足底装具の製作、材料の知識に精通している。

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ①靴を製作するのに使用される様々なパーツの形についての知識をもつ。
- ②靴のそれぞれのパーツの形とそれによって生じる機能を理解する。
- ③整形靴に適切な靴のデザインについて基礎付ける。

回数	講義内容
1	靴のデザインと機能
2	木型と足・木型と靴のデザイン、機能
3	ソールの形①(インソールパターンと機能)
4	ソールの形②(ソール底面の形と機能)
5	アッパー① 履き口の形と機能
6	アッパー② ベーシックなアッパーのデザインと靴の機能
7	アッパー③ 羽根を留める材料と機能
8	アッパー④ タンとつま先の意匠
9	アッパー⑤ ミシン目によるデザイン効果と機能
10	アッパー⑥ アッパーの色と革のテクスチャーによる効果
11	靴の構成部品① ミッドソールとウェルト
12	靴の構成部品② トウボックスとカウンター
13	靴のデザインへの錯視の利用
14	まとめ:靴のデザインとは何か
15	まとめ:デザインシート解説 まとめ
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
靴デザイン学		JESC

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験の成績90点+小テスト平均10点の100点満点で評価する